

## がん予防のススメ Vol.75

### 子宮頸がんは、 早期発見で治る病気です



徳島大学病院  
周産母子センター特任助教  
みねだ

峯田 あゆか氏

子宮頸がんは、20～30代の女性で増えており、日本では毎年およそ2800人が亡くなっています。20歳以上の女性では、最低2年に1回の子宮がん検診を推奨されていますが、特に若い方の検診受診率はまだまだ低いのが現状です。令和元年の国民生活基礎調査で、徳島県の子宮がん検診受診率は34.2%と低く、全国35位でした。

子宮頸がんは、初期症状がほとんどなく、「5年以上検診を受けていない」「出産後、一度も検診を受けていない」という患者さんが多くいます。しかし、子宮頸がんは、定期的な検診による早期発見で治せる病気です。子宮がん検診をしばらく受けていない、これまでに一度も受けていないという方は、これを機にぜひ検診を受けるようにしましょう。



徳島大学病院がん相談支援センター  
がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター  
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター  
<http://www.toku-gantaisaku.jp>